

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校  
学校番号 (25)

評価実施日	令和8年2月25日(水)		
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	楠本雅人	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ロープウェー商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	佐伯美紀	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田村有希	在宅介護複合施設康復センター星岡施設長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	神野泰二	松山市立東中学校長	学校関係者評価委員
	向井孝明	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	河野謙一郎	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員
	塚本強	定時制PTA会長	学校関係者評価委員

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>アンケート結果でも多数の生徒が授業に意欲的に取り組んでいると解答しており、生徒が積極的に授業に取り組んでいると判断できる。</li></ul> <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>各種資格取得・検定合格者が昨年度に比べ大幅に上昇している。</li><li>国公立大学や松山大学など多くの合格者を出している。指定校推薦以外でも明治大学や関西学院大学にも合格しており、多岐にわたる進路実現を果たしていることは今年の成果だと思われる。</li></ul> <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>学校の設定する出席率の目標値が高いのではないかと。近年は休むことに抵抗が薄れており、無理をしない生活にシフトする家庭も増えつつあるので仕方がない。</li><li>すごく感じのいい挨拶ができる生徒が増えている。</li><li>地域の方から苦情も多いと思うが、学校を信用しているからこそその苦言だと思う。そういった情報を真摯に受け止め、さらなる改善に努めていただきたい。</li></ul> <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>運動会・城山門前祭り・商神祭など学校行事に楽しそうに参加されている生徒さんを見ると、先生方のきめ細かな指導・監督ができていように思われた。</li><li>今年度も四国大会・全国大会に多くの部が出場している。生徒や先生方の日々の努力が伺えたことで、次年度につながる活動も多かったと感じている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒の視点に立って授業を振り返り、話すテンポ、板書の仕方、ICTツールの使い方を考え、さらなる授業改善に取り組んでいく必要がある。</li><li>検定試験は、進路実現や自己啓発に役立つことを理解させ、積極的な資格取得を進めていく。</li><li>共通テストでは、昨年度から全国平均点が下がった科目と近づいた科目がある。「国語」「英語」「情報」については、1年次の取り組みから振り返り、改善に努めていきたい。</li><li>近年は休むことに抵抗が薄れており、無理をしない生活にシフトする家庭も増えつつあるが、学校生活を有意義なものにするために、感染症の予防を徹底していきたい。</li><li>引き続き、明るく、いつも、先に、常に心を掛け、挨拶の励行に努めていきたい。</li><li>地域からの苦情は、最大の情報と受け止め、よりよい学校になるよう継続して指導していきたい。</li><li>生徒の意見を積極的に取り入れ、活躍する場所を増やすことで、さらに、「主体的に取り組む」姿勢を養っていきたい。</li><li>四国大会出場、全国大会出場の実績に応じた部活動費の加算等を取り入れるなど、検討したい。</li></ul>

<p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マニフェストの数値目標が高すぎるのではないか。幼稚園・小・中学校と不登校の児童が増えている最近の状況の中で 97.6%の出席率は立派である。達成感を評価することはとても大切なことなので、もう少し数値目標を下げて良いのではないか。</li> <li>生徒が行きたい松山商業、保護者が行かせたい松山商業、教職員が働きたい松山商業を今後も目指してほしい。</li> <li>普通科と違ったカリキュラムであるが、検定率の合格4年生大学への進学率などや大きな成果が出ている。地元の中学生たちが、松山商業にいきたいと思うような指導を今後も続けていただきたい。</li> <li>1000日実習の評価が「E」と悪いが、おそらくこれは内容が10年前と変わっていないからだと思う。もっと現場で各自の悩みをきいてもらうような取り組みを増やしていくと、生徒はもっと成長していくのではないか。</li> <li>東雲地区自主防災会議組織ネットワークの会議の構成員でもある愛媛大学、松山商業高校、東中学校、東雲小学校との東雲地区総合防災訓練を提案する。地域内の他の組織と連携・協力することで、より効果的な防災活動を展開したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒たちに、達成感を感じさせることはとても大切なことである。パーセンテージも少し検討していきたい。</li> <li>生徒の意見を積極的に取り入れ、活躍する場所を増やすことで、さらに「主体的に取り組む」姿勢を養っていきたい。</li> <li>今年度は「日商簿記1級」や経済産業省の「応用情報技術者試験」に合格するだけでなく、全商協会の他種目合格者も223名と全国2位の成績を収めることができた。検定試験は、進路実現や自己啓発に役立つことを理解させ、今後も積極的な資格取得を進めていく。</li> <li>学校では体験できないことを実習では学ぶことも多いため、受け身の姿勢だけでなく、積極的な取り組みができるよう指導していきたい。</li> <li>積極的に地域と連携・協力し、災害から自分たちの地域を守るための防災意識の高揚に努める。災害発生時に初期消火、避難誘導、負傷者の救出・救護、情報伝達、給水・給食活動などの系統的な訓練を地域住民と一緒にしながら連帯意識を高めていきたい。</li> </ul>
--	---

## 定時制

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出席率も近年で最も高く、生徒にとって「行きたくなる学校」になっている。修学旅行や松山南高校との合同行事など、満足度の高い教育内容となっている。</li> <li>各種検定合格率も、昨年度に比べて大幅に高くなっている。全商検定1級3種目以上合格者を3名で達成していることは、すばらしい。</li> <li>卒業生の進路実現100%を達成し、総合型選抜、一般入試と、多様な入試に対応できる指導がなされている。</li> <li>保護者参加の行事への出席率は、生徒数減少に伴い、割合を数値目標とするのは、達成が難しいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生徒が、一人一役を担って輝ける居場所づくりに今後も努めたい。</li> <li>近年、進学者が増加しているが、進学・就職と、バランスの良い進路指導の工夫に努めたい。</li> <li>生徒数減少に伴い、数値目標の設定については、実現可能な目標となるよう、見直したい。</li> </ul>